

核医学検査技術学実習 Practice in Nuclear Medicine 令和6年度 4年前期 月曜 13:00-15:00

実習の予定 Web実習(2はRI化学実験室で)

1. 放射線更新講習 Web
2. 注射針、バイアルの取り扱い RI化学実験室
3. フィルタ処理、畳み込み Web
4. SPECT画像処理 Web
5. PET/CT画像処理 Web
6. Wet Type ^{99m}Tc Generator Web
7. 6月3日 13:00-14:00 期末試験 C501で

前半グループ	学生番号	後半グループ	学生番号
	02210029		02213326
	02210409		02213327
	02213303		02213328
	02213305		02213329
	02213306		02213331
	02213308		02213332
	02213309		02213333
	02213310		02213334
	02213311		02213335
	02213313		02213336
	02213314		02213337
	02213315		02213340
	02213316		02213342
	02213317		02213343
	02213319		02213344
	02213320		02213345
	02213322		02213347
	02213323		02213348
	02213324		

放射線4年 核医学検査技術学実習 月曜 13:00~14:30

	4月8日	4月15日	4月22日	5月13日	5月20日	5月27日	6月3日
前半グループ	健康診断 放射線 更新講習	実習3	実習5	実習2	実習4	実習6	試験 13:00 C501
後半グループ				実習4	実習2		

1 放射線更新講習 Web講習 必ず受講票を提出

実習2 注射器、バイアルの取り扱い(RI化学実験室) マスク着用

実習3 Web実習 フィルタ処理、畳み込み処理

実習4 Web実習 SPECT画像処理

実習5 Web実習 PET/CT画像処理

実習6 Web実習 Wet Type ^{99m}Tc Generator の取扱い

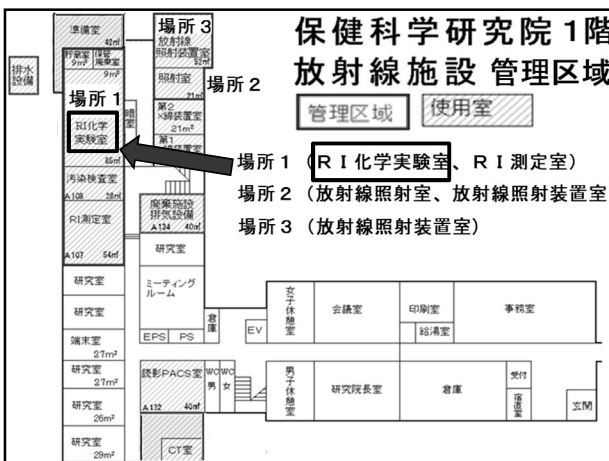
7 期末試験 6/3 13:00 C501室

レポート提出先および質問等は下記へ
hokudaikatoh@gmail.com

実習日の翌日～数日後までに、レポート提出すること。
メールに添付するレポートファイル名には、
核医学実習番号と学生番号と氏名を記載すること。

レポート提出一覧表を確認すること。

体調不良、発熱、咽頭痛など症状がある場合は、
実習室に来ないように。(欠席メール連絡は出して下さい。)



ガラスバッジ、ルミネスバッジ

X, γ , β 線が同時に測定できる光刺激ルミネッセンス線量計 (OSL: Optically Stimulated Luminescence)。

装着部位アイコン 氏名 ラベルグループ名1
ラベルグループ名2
S1 胸 長瀬 裕太郎
12345
54321
AB
8056789 19/04/01-04/30
所属カラー 着用周期カラー

ルミネスバッジは、プロテクタの内側に装着。

装着部位は、女性は腹部、男性は胸部。
(組織加重係数の大きい臓器分布の違いによる)

胸 腹

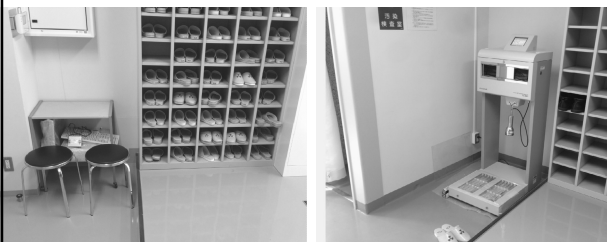
毎月の月末に全員のルミネスバッジを回収し、測定業者に郵送し、毎月の外部被ばく線量を計測、記録している。

月末には、必ずルミネスバッジを、RI化学実験室入口のバッジ置場に、必ず戻すこと。

特に、4年生の病院実習期間は要注意。
月末の戻し忘れ、バッジの紛失が多い。

本州等へ病院実習や研究などでバッジを持って飛行機に乗る際は、空港X線検査装置 (5mGy照射する) にバッジを通さないように申告する。

汚染検査室内で 専用の白衣とスリッパを着用



奥の実験室へ入る際は、黄色スリッパに履き替える。(履物底にRI汚染があっても、ここで床の汚染が止められる。) ハンドフットクロスモニタで手やスリッパ底などの汚染検査を行う

管理区域から退出する際は、ハンドフットクロスモニタで、手足(靴、スリッパ)、作業衣等に汚染がないことを検査する。

履物は脱がずに汚染検査する

万一、手足(靴、スリッパ)等に放射性汚染が検出された時は準備されている除染剤を使用して洗浄し、汚染を除去する。

